

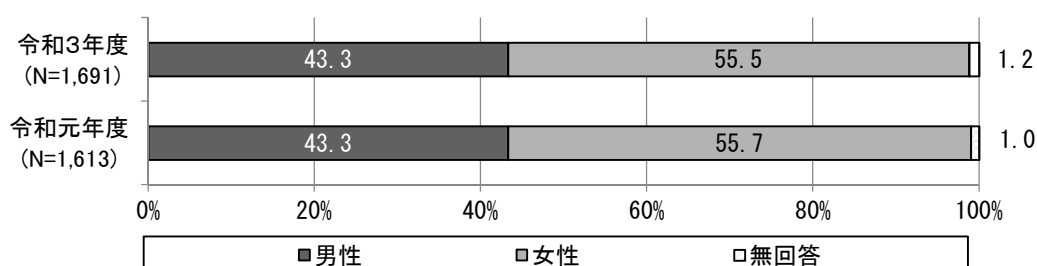
## I-2 回答者のプロフィール

### 1 性別

回答者1,691人の性別をみると、「男性」が733人(43.3%)、「女性」が938人(55.5%)、「無回答」が20人(1.2%)となっている。

旭川市の人口329,822人(令和3年4月1日現在の住民基本台帳人口)の内訳は、男性が153,085人(46.4%)、女性が176,737人(53.6%)となっており、人口の男女比率と同じく女性の回答率が高くなっている。

令和元年度調査と比較すると、性別の割合はほぼ同じとなっている。

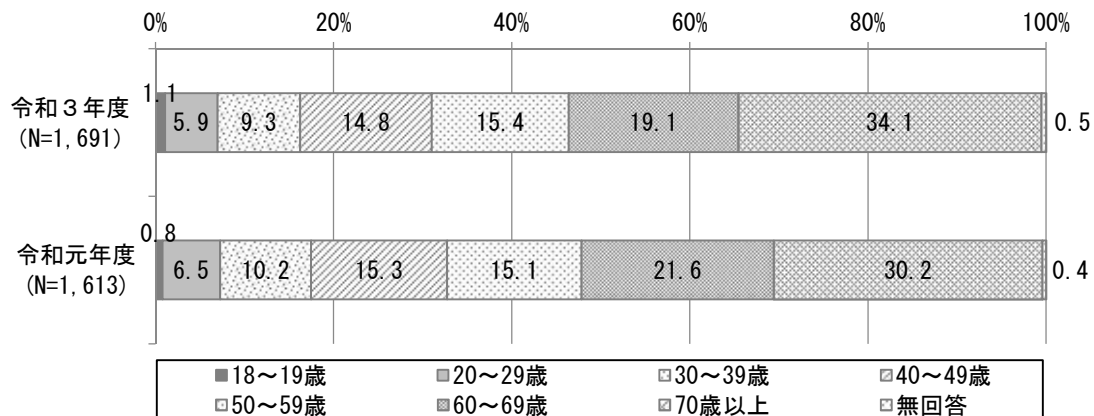


### 2 年齢層

回収率を年齢層別にみると、「60～69歳」が66.7%と最も高く、60歳以上では6割以上が回答している一方、「18～19歳」は30.0%、「20～29歳」は36.3%にとどまっている。

回答者の年齢構成をみると、「70歳以上」が34.1%と最も高く、次いで「60～69歳」が19.1%、「50～59歳」が15.4%となっている。

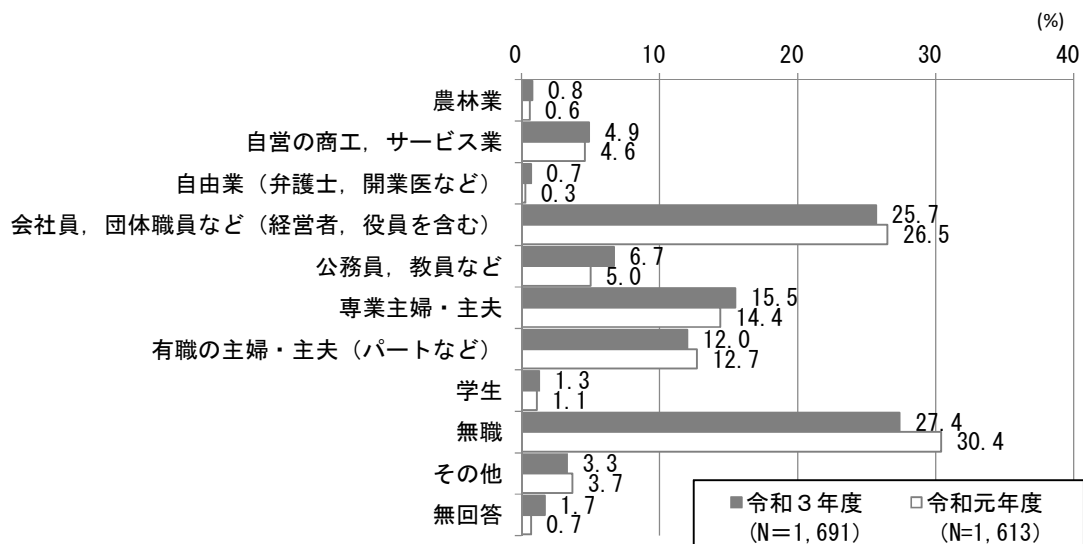
年齢層	発送数	回収数		回収率 (%) (回収数/発送数)
		回収数	構成比 (%)	
18～19歳	60	18	1.1	30.0
20～29歳	273	99	5.9	36.3
30～39歳	341	157	9.3	46.0
40～49歳	474	250	14.8	52.7
50～59歳	452	260	15.4	57.5
60～69歳	484	323	19.1	66.7
70歳以上	916	576	34.1	62.9
無回答	—	8	0.5	—
合計	3,000	1,691	100.0	56.4



### 3 職業

回答者の職業構成比をみると、「無職」が27.4%と最も高く、次いで「会社員，団体職員など（経営者，役員を含む）」の25.7%，「専業主婦・主夫」の15.5%，「有職の主婦・主夫（パートなど）」の12.0%の順になっている。「農林業」「自由業（弁護士，開業医など）」「学生」は少数である。

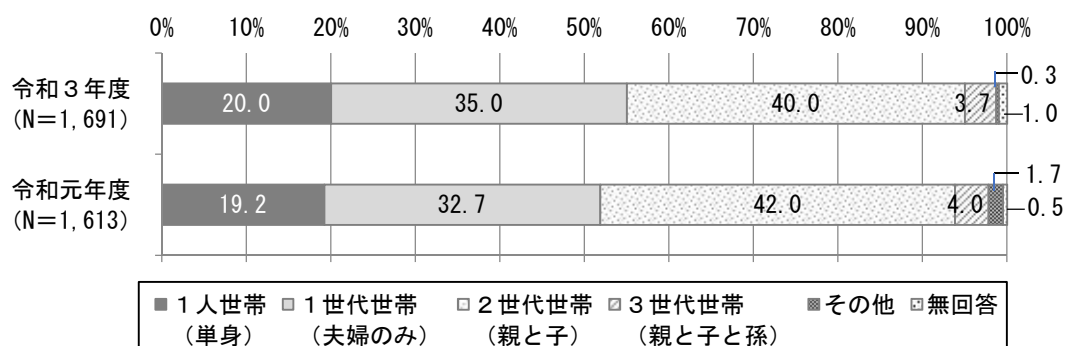
令和元年度調査と比較すると，構成比は同じような傾向を示している。



## 4 家族構成

回答者の家族構成をみると、「2世代世帯（親と子）」が40.0%と最も高く、次いで「1世代世帯（夫婦のみ）」の35.0%、「1人世帯（単身）」の20.0%の順となっている。

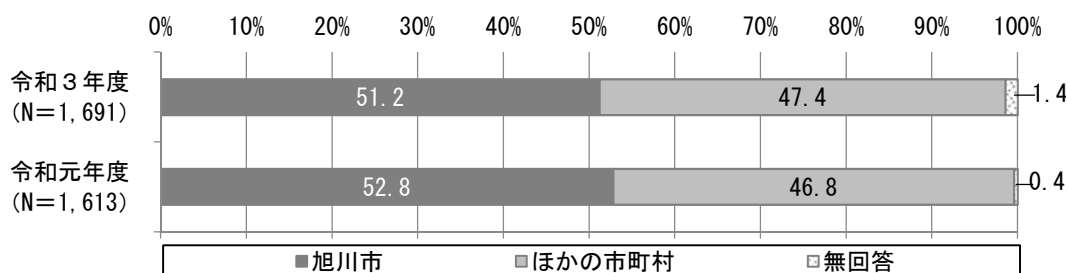
令和元年度調査と比較すると、「2世代世帯（親と子）」が2.0ポイント、「3世代世帯（親と子と孫）」が0.3ポイント減少しているのに対し、「1世代世帯（夫婦のみ）」は2.3ポイント、「1人世帯（単身）」は0.8ポイント増加している。



## 5 出生地

回答者の出生地をみると、「旭川市」が51.2%、「ほかの市町村」が47.4%となっている。

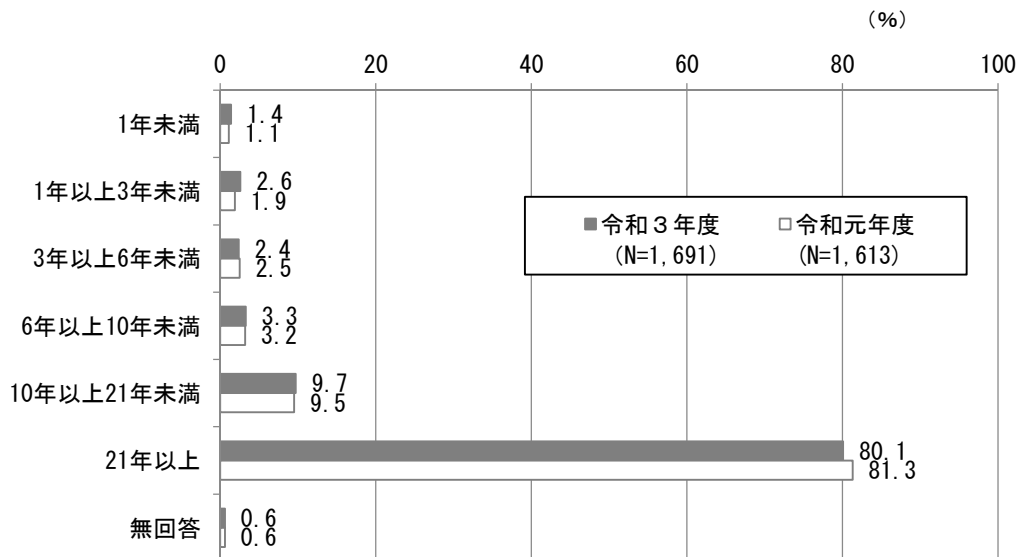
令和元年度調査と比較すると、「旭川市」の回答率が1.6ポイント低くなっている。



## 6 通算居住年数

回答者の旭川市における通算居住年数は、「21年以上」が80.1%と最も高く、次いで「10年以上21年未満」が9.7%となっている。

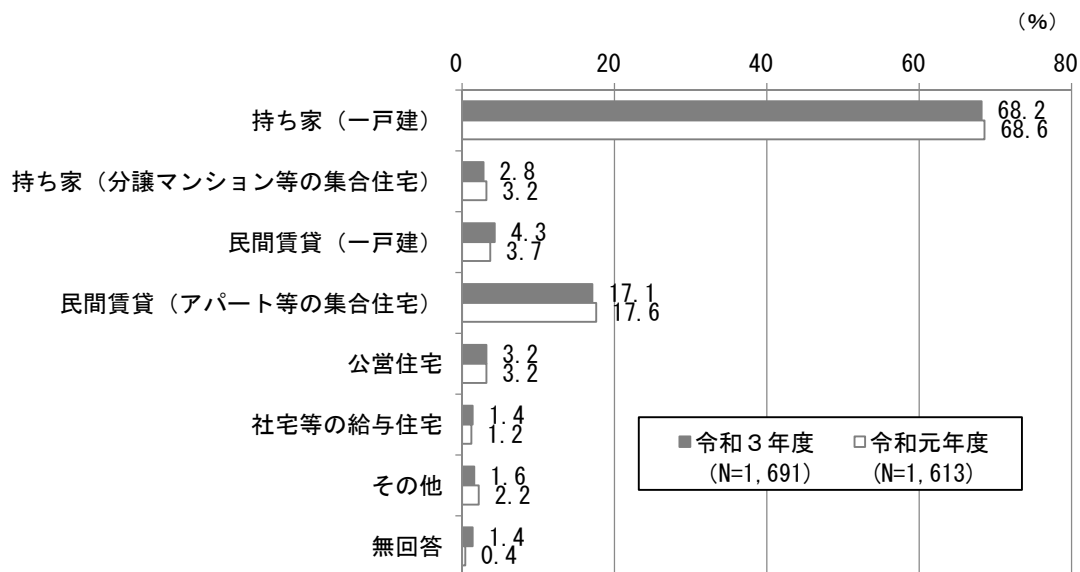
令和元年度調査と比較すると、「21年以上」が1.2ポイント低く、「1年以上3年未満」が0.7ポイント高くなっているが、それ以外の項目については、ほぼ同じ割合になっている。



## 7 住宅の種類

回答者が住んでいる住宅の種類は、「持ち家（一戸建）」が68.2%と最も高く、次いで「民間賃貸（アパート等の集合住宅）」の17.1%の順になっている。

令和元年度調査と比較しても、ほぼ同じ傾向を示している。



## 8 居住地域

今回調査では、旭川市内を15地域に区分し、集計を行った。各地域への調査票発送数は、母集団の人数の割合に応じて決定しており、母集団は令和3年4月1日現在の住民基本台帳人口による。

全体の回収率は56.4%となっており、令和元年度調査より2.6ポイント上昇した。地域別にみると、「春光地域」が72.2%と最も高く、次いで「緑が丘地域」が62.4%、「神楽地域」が60.5%となっている。

地域名	母集団（人）	発送数（人）	有効回答数（人）	回答率（%）
中央・新旭川地域	39,459	360	210	58.3
豊岡地域	24,244	219	120	54.8
東光地域	48,938	442	245	55.4
北星地域	31,929	290	166	57.2
末広地域	27,907	253	143	56.5
春光地域	15,975	144	104	72.2
春光台・鷹の巣地域	11,424	104	62	59.6
神居地域	30,487	276	137	49.6
江丹別地域	270	14	7	50.0
永山地域	41,898	379	192	50.7
東旭川地域	13,530	122	68	55.7
神楽地域	16,764	152	92	60.5
緑が丘地域	19,056	173	108	62.4
西神楽地域	2,933	27	15	55.6
東鷹栖地域	5,008	45	22	48.9
(居住地不明)	—	—	—	—
合計	329,822	3,000	1,691	56.4

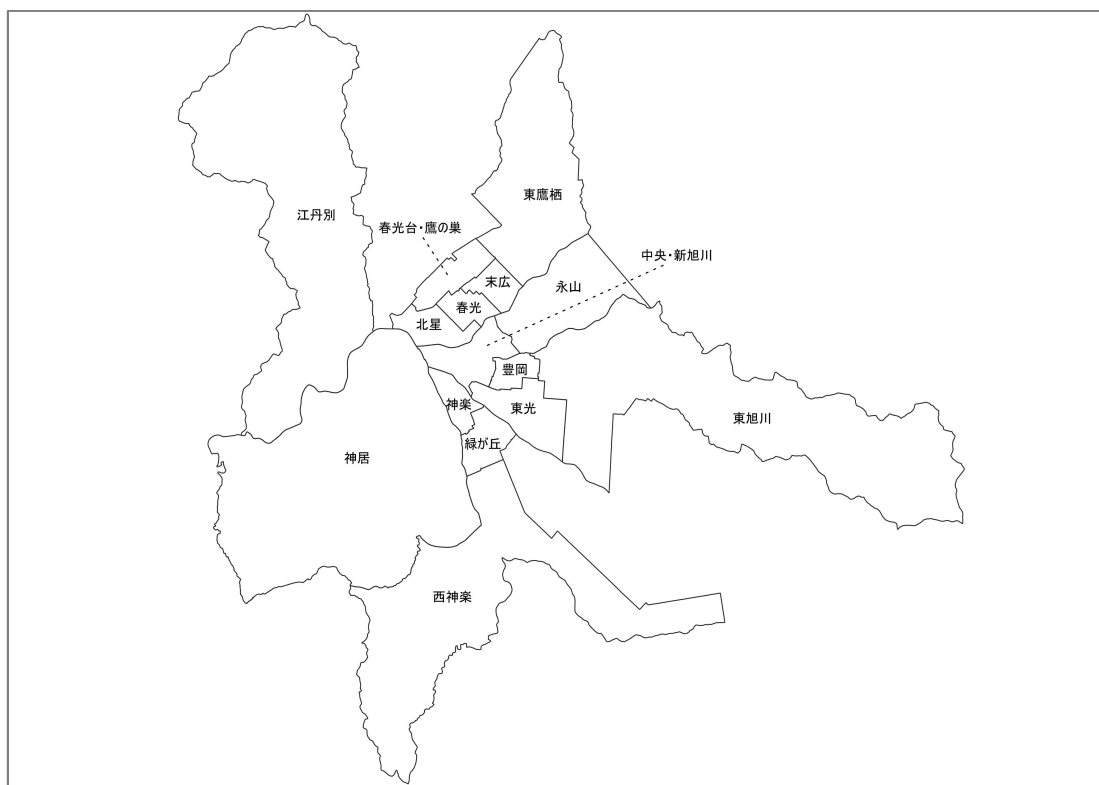
地域区分は、下表のとおり「地域まちづくり推進協議会」の所管区域に基づいている。なお、令和元年度調査における地域区分と差異はない。

### 【今回調査の地域名と対象地区市民委員会】

地域名	対象地区市民委員会
中央・新旭川地域	西、中央、大成、朝日、新旭川
豊岡地域	新豊岡、豊岡、愛宕
東光地域	啓明、東光、東光南、東豊中央、東部東光、千代田
北星地域	北星、旭星、旭星西、川端、近文東、近文西、春光町
末広地域	末広中央、末広、末広東
春光地域	春光西、春光中央、春光東
春光台・鷹の巣地域	春光台、鷹の巣福祉村
神居地域	神居中央、神居東、台場、忠和、神居雨紛、西神居
江丹別地域	江丹別、嵐山
永山地域	永山第一、永山南西、永山南、永山第三、永山第二
東旭川地域	東旭川中央、旭正、日の出倉沼、桜岡、豊田、米原瑞穂
神楽地域	神楽本町、神楽宮前、高野、神楽岡
緑が丘地域	旭神、神楽岡東、緑が丘、西御料地、緑が丘東
西神楽地域	西神楽地区瑞穂、西神楽地区中央、西神楽地区聖和、西神楽地区千代ヶ岡
東鷹栖地域	東鷹栖中央、東鷹栖東、東鷹栖西、東鷹栖北※

※東鷹栖北地区市民委員会は、平成30年3月末に解散している。

## 【地域区分図】



※地域別の境界は、実際の地域まちづくり推進協議会の区割りとは異なる場合がある。